

2017年(平成29年度)複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅲ 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進	施策No.	29	施策名	緑と水辺の保全と創造
-----	----------------------	-------	----	-----	------------

目的、内容	以下の目的のため、広域的なみどりのネットワークを構築し、実感出来るみどりづくりを推進 ・みどりの連続性を強化し、海～街～山をつなぐ「みどりの軸」を創出 ・CO2の吸収をはじめ、みどりの多様な機能を発揮させる「周辺山系など既存のみどりの保全・再生」 ・多様なみどりを増やし、つなぎ、広げる「みどりの量的充足」 ・暮らしの豊かさや安全・安心、生物多様性確保などに資する「みどりの質の向上」 ※みどり：周辺山系の森林、都市の樹林・樹木・草花、公園、農地に加え、これらと一体となった水辺・オープンスペースなど			
副次的効果、外部効果等	①みどりのもつ生物多様性の保全、景観、水源涵養、防災、レクリエーションの場の提供など多面的な効用の増進に資する。 ②地域とともにみどりの行動にかかわることにより、コミュニティの強化、観光・教育・福祉の効果などの効果が期待できる。			
関係法令、行政計画等	①大阪府自然環境保全条例： ②みどりの大阪推進計画（2009年12月）：			
国等の政策、社会情勢等				
(参考) 「講じた施策」に記載した施策事業コスト	2014年度(決算額)(千円)	2015年度(決算額)(千円)	2016年度(決算見込額)(千円)	
	1,011,298	428,708	67,933	
※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。				
取組指標及び実績 (施策効果の定量評価)	名称	把握方法	実績	
	① 緑地の府域面積に対する割合	みどりの大阪推進計画の進捗管理において把握	41.4% (2005年度)、41.2% (2009年度)、40.9% (2013年度)	
	② 市街化区域の緑被率	同上	14% (2002年度)、14% (2012年度)	
	③ 大阪府域にみどりがあると感じる府民の割合	同上	52.7% (2016年度)	
	④ 最近みどりに触れた府民の割合	同上	23.4% (2016年度)	
施策の進捗状況	施策の内容	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況
	自然環境の保全・再生 ・周辺山系の保全・再生 ・農空間の保全、活用 ・臨海部のみどりの保全再生	☆☆	共生の森づくり活動支援事業	堺第7-3区産業廃棄物処分場の「共生の森(約100ha)」において、NPO等多様な主体との連携による森づくり活動、自然環境学習等を実施。毎年1,500人前後が参加
			オアシス整備事業	府民協働でため池・水路をはじめとする農空間を保全・活用する地域づくり整備地区 計36地区(2016年度末)
			生駒山系花屏風構想の推進	花屏風整備の推進 植栽数：767本(2016年)
			多奈川ピオトープ保全活動の推進	2016年度の取組 ハイキングイベント 1回 参加者数338人 自然観察イベント 5回 参加者数401人
	ネットワークの形成 ・道路・河川を主軸としたネットワークの形成 ・ネットワークの拠点となる大規模公園緑地の整備 ・みどりの連続性や厚みと広がり確保	☆☆	「みどりの風促進区域」における緑化推進	2011年5月、道路や河川を中心に両側約100mの区域を指定し、以下の重点取組みによりみどりの軸を形成(12路線、延長200km) ①公共事業の重点化 ②民有地の都市計画手法(容積率、建ぺい率の緩和等)による緑化誘導 ③樹木の提供など企業とのタイアップによる沿線民有地の緑化促進 植樹本数 累計約10,000本(2016年度末まで)
			日本万国博覧会記念公園事業(緑地管理業務)	2015年11月に策定した「日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン」に基づき、都市の景観形成や生物多様性の向上のため、良好な管理を実施しました。
			大阪ふれあいの水辺づくり事業	一級河川大川(旧淀川)左岸の毛馬桜之宮公園貯木場跡の水辺を活用し、府民の方が水辺に親しみ、くつろげる空間づくりを実施。 地引網による生物調査開催回数 2回(2014年度)、2回(2015年度)、2回(2016年度)
	街の中に多様なみどりを創出 ・府有施設の緑化推進等 ・民有地のみどりの保全創出	☆☆	府有施設の緑化の取組み	府有施設等緑化推進計画の推進 府有施設611施設において緑地面積504ha(2015年度末まで)
			建築物緑化促進顕彰事業	緑化による都市環境の改善や魅力向上のモデルとなる優れた取組への顕彰
まちの緑視率の公表			緑視率調査の実施	
みどりの行動の促進 ・みどりづくりを通じた地域力再生 ・府民、NPO、企業	☆☆	公立小学校の芝生化推進事業	地域と学校が一体となって行う公立小学校の運動場の芝生化を推進 経費の一部補助、庁内関係部局からなる「芝生サポート隊」による技術サポート等を実施 府内182校で約20haの校庭を芝生化(2009～2012年)	

	等との連携推進 ・みどりの人づくり・ 組織づくり		みどりに関する 教育・啓発活動 の推進	府民協働によるみどりづくり行動に、のべ約24万人、225団体が参加（2015年度）
			府内産木材の利用促進による森林環境の保全・再生	子育て施設木のぬくもり推進事業（2016年度）
			魚庭（なにわ）の海づくり大会	イベントを通じて、美しく豊かな大阪湾を府民の手で取り戻す活動への取組みの呼びかけを行った。（来場者数は2014年10,000人、2015年10,000人、2016年10,000人）
			水辺の楽校	主に小学生を対象に授業（総合学習）の一環として、河川における自然学習を実施 ・2016年度は、13校1,602人が参加

※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗

評価	評価	理由等
施策目的の達成状況	一部想定以下の進捗	①～④のいずれの指標も横ばい又は減少傾向
事業・工程の進捗状況	計画どおり進捗	
計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等
目標	—	
本文	無	
工程表	—	
その他の改善事項	無	
関係課室	みどり推進室、農政室、都市整備部、府民文化部、水産課	

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	概ね妥当である。	概ね妥当である。	概ね妥当である。